

医局だより



第 151 回関東連合産科婦人科学会学術集会

こんにちは！

先日、鳥人間コンテストをみました。人力プロペラ機部門で、優勝は大阪工業大学（24,671.48m）でしたが、東京科学大学 Meister は 22,722.17m という優勝まであと一步の記録で、見事準優勝でした！！

東京科学大学（旧東工大）の Meister は通算 5 回の優勝を飾る強豪サークルとのことです。今回、Meister は 25 回目の出場だったそうですが、初のパイロン回旋（しかも 2 か所）を遂げました。パイロン回旋というのは、機体が進化しすぎて琵琶湖の対岸に達するチームが現れたため、2004 年大会から導入された、チェックポイント（パイロン）で旋回して戻るというルールです。とてもきれいに回旋し、チームが涙しながら応援する姿を見て、私も手を叩いて熱狂して応援してしまいました。来年もぜひ楽しませてください！



引用 : Instagram
@sciencetokyomeister

さて、今回の話題は、6月20、21日の2日間で行われた関東連合産科婦人科学会についてです。今回は東京科学大学が主管校でした。宮坂教授が学術集会長を務められました。



はじめに、集合写真です。今回の学術集会では、宮坂教授とともに、石川先生、若菜先生、不殿先生が準備を進めてくださいました。プログラム作成や企業とのやり取り、発表準備…とても大変だったと思います。お疲れさまでした！

講演・セッションでは、産婦人科医療における AI の活用、医工産学連携で創る次世代外科治療といった、最近のトピックスや東京医科歯科大学と東京工業大学との統合がきっかけとなったセッションもありました。優秀演題を含めた一般口演発表、ポスター発表でも大変多くの先生方に発表していただきました。同時並行でいくつかのセッションや発表が行われたので、私は口演発表・

ポスター発表をみることができず大変残念だったのですが、活発に議論が行われていたようでした。



ほぼ同じ写真ですが、少しだけ笑いが増えたにこやかバージョンもせっくなので載せてみます。なかなかこのようなフォーマルな装いで撮る、綺麗な集合写真はなく貴重ですもんね！

少し話はそれますが、2日目の6月21日は、FIFAワールドカップの日本 vs. チュニジア戦がありました。13時キックオフで、結果的に4-0で日本が勝利したわけですが、この日本戦が学術集会ランチョンセミナーに多大な影響を及ぼしていました！ランチョンは12:30～13:20という試合開始直前からの1時間であり、6会場ありました。企業様、演者・座長の先生方などにご迷惑おかけしました。少なくとも私は、6企業様を心にとめて、今後の処方などで力添えをがんばりたいと思います！！



最後は教授の挨拶の写真で締めたいと思います！お疲れさまでした！！

2026年9月7日
文責：廣瀬 明日香